



平成 26 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 東 京 衡 機
 (旧社名 株式会社テークスグループ)
 代表者名 代表取締役社長 山本 勝三
 (コード番号 7719 東証第2部)
 問合せ先 管 理 部 長 平岡 昭一
 (TEL. 03-5207-6760)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月期第 2 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。また、当該特別損失の発生および最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 30 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

(1) 国内連結子会社の固定資産の減損

当社の連結子会社である株式会社 KHI における当期取得の固定資産について、同社の業績が未だ改善しないことから、前期に引き続き特別損失として減損損失を計上いたします。

(連結) 減損損失 2 百万円

(2) 関係会社投融資評価の算定の見直しによる引当金繰入

株式会社 KHI に対する当社の未収入金等の債権増加や同社の純資産の減少に対する引当金繰入額を特別損失に計上いたします。

(個別) 貸倒引当金繰入額 23 百万円

関係会社事業損失引当金繰入額 51 百万円

(3) 国内連結子会社の事業改革による損失計上

現在、当社グループとしてゆるみ止めナット事業の事業改革および抜本的な見直しを行っており、当該事業に係る在庫等のたな卸資産について、改めて使用・処分方針を見直した結果、特別損失として事業再編損を計上することといたしました。

(連結) 事業再編損 30 百万円

2. 業績予想数値の修正

(1) 平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	3,081	98	63	22	円 銭 0 30
今回修正予想 (B)	2,861	11	△2	△76	円 銭 △1 06
増減額 (B-A)	△220	△87	△65	△98	—
増減率 (%)	△7.1	△88.8	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	2,820	△28	△66	△104	円 銭 △1 46

(2) 平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,407	22	24	円 銭 0 21
今回修正予想(B)	1,148	△37	△117	円 銭 △ 1 64
増減額(B-A)	△259	△59	△141	—
増減率(%)	△18.4	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成26年2月期第2四半期)	1,166	△34	△92	円 銭 △ 1 29

(3) 平成 27 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,000	180	130	50	円 銭 0 70
今回修正予想(B)	5,888	92	76	20	円 銭 0 28
増減額(B-A)	△112	△88	△54	△30	—
増減率(%)	△1.9	△48.9	△41.5	△60.0	—
(ご参考)前年同期実績 (平成26年2月期)	5,772	△202	△277	△418	円 銭 △5 87

(4) 平成 27 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

単位：百万円、%

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,660	△5	△1	円 銭 △0 01
今回修正予想(B)	2,400	△80	△146	円 銭 △2 04
増減額(B-A)	△260	△85	△145	—
増減率(%)	△9.8	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成26年2月期)	2,456	△22	△245	円 銭 △3 44

3. 修正の理由

平成 27 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、当社単体では、試験機事業での売上計上時期のずれ込みに伴う売上高および粗利益の減少ならびにゆるみ止めナット事業の事業改革に伴う販売費及び一般管理費の増加があり、連結では、子会社の株式会社 KHI を主体とするゆるみ止めナット事業における売上高未達による粗利益の減少と当該事業に係るたな卸資産についての特別損失計上を主因に、期初予想を大きく下回る見込みであります。

平成 27 年 2 月期通期業績予想につきましては、試験機事業では、当社単体の当期前半の受注環境低迷の影響が懸念されますが、グループ全体では期初予想に近い業績を見込んでおります。また、住生活事業では、無錫の中国子会社の業績伸張による連結業績への寄与を見込んでおり、ゆるみ止めナット事業については収益均衡に向け抜本的な見直しを行っておりますが、平成 27 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間での業績の達成額不足を回復することは困難であると判断いたしました。

以上